

Q&A

便潜血陽性を契機に発見された大腸病変

【問題】

症例：54歳，男性。

現病歴：大腸癌検診にて便潜血陽性であったため，当科を受診した。

血液検査所見：WBC 10300/ μ l, Neut 81.8%, Eos 0%, Bas 0%, Mon 7.1%, Lym 10.1%, RBC 340×10^4 / μ l, Hb 9.2g/dl, Plt 44×10^4 / μ l, AST 39IU/L, ALT 66IU/L, ALP 234IU/L, γ -GTP 88IU/L, TP 6.4g/dl, ALB 4.0g/dl, CEA 1.4ng/ml, CA19-9 15.8IU/ml, sIL-2R 912U/ml, QFT 陰性。

下部消化管内視鏡検査所見：Figure 1に示す所見が大腸全域に多発して認められた。

内視鏡画像から考えられる鑑別診断は？

解答は日本消化器病学会雑誌110巻10号をご覧ください。

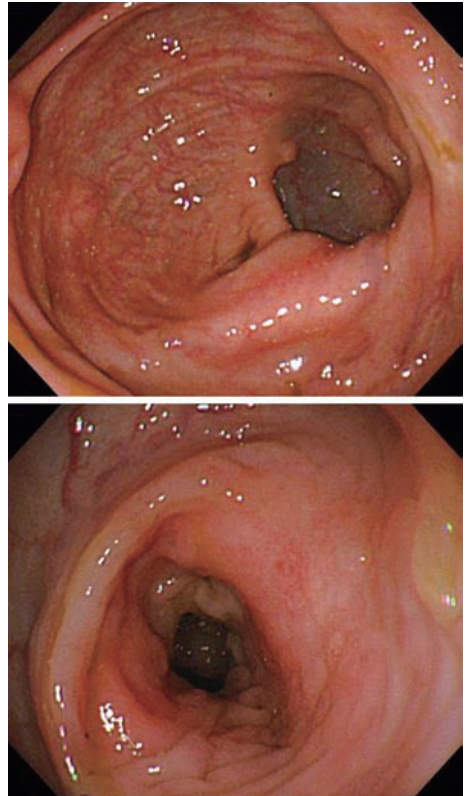


Figure 1. 下部消化管内視鏡検査.